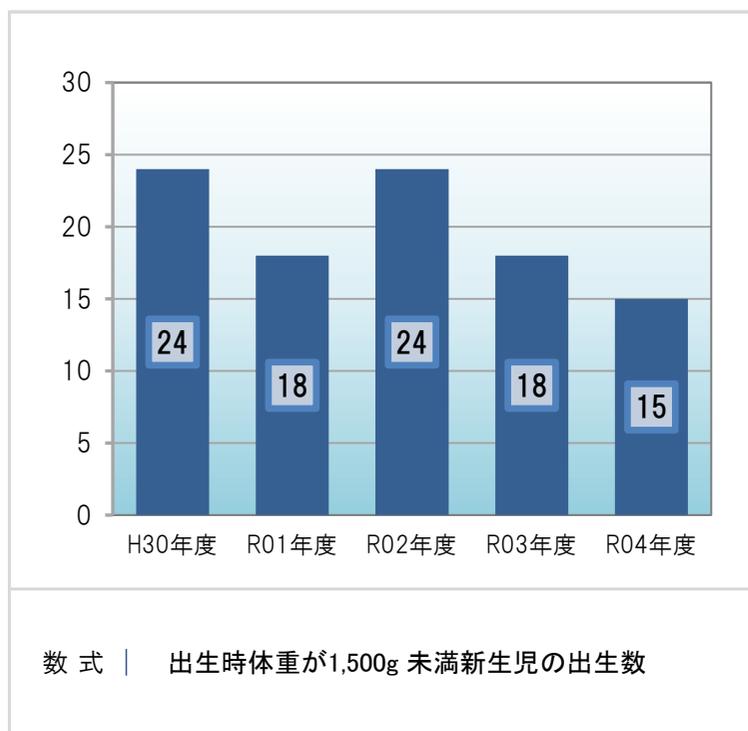


11 新生児のうち、出生時体重が1500g未満の数

● 項目の解説

出生時体重が1500g未満の新生児を極小低出生体重児といいます。このような新生児の治療には、高度な設備を持つ新生児特定集中治療室(NICU)において、経験のある医師・看護師が24時間体制で呼吸・循環などの全身管理を行う必要があります。極小低出生体重児の数は、高度な周産期医療を提供していることを示します。

● 当院の実績



単 位 | 件数

期 間 | 年間

備考

新生児集中治療部(NICU)では、超低出生体重児の他、外科疾患・心疾患などの他科との連携を要する重症な児の治療を行い、地域医療に貢献しています。

令和4年度国立大学病院平均値 11.57人

● 定 義

DPCデータを元に算出した、自院における出生時体重が1500g未満新生児の出生数です。死産は除きます。